

## 10 発表業績

### 10. 1 著書・報告書

題 名	著 者	著書・報告書名
SYBR green リアルタイムPCR法による食中毒21事例からの原因菌の迅速スクリーニング	福島博	地域における健康危機に対応するための地方衛生研究所機能強化に関する研究 平成20年度総括・分担研究報告書 (厚生労働科学研究費補助金 地域健康危機管理研究事業) 平成20(2008)年3月
リケッチア感染症の国内実態調査および早期診断体制の確立による早期警鐘システムの構築	田原研司	平成20年度新興・再興感染症研究事業 平成20年度総括・分担研究報告書 129-137 平成21(2009)3月
集団発生事例および散発生胃腸炎からのノロウイルス検出状況	飯塚節子	食品中のウイルスの制御に関する研究 平成19年度総括・分担研究報告書143-150 (厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業) 平成20(2008)年4月

### 10. 2 誌上発表

題 名	著 者	著書・報告書名
Anti-influenza virus activity of Myrica rubra leaf ethanol extract evaluated using Madin-Darby Canine (MDCK) cells	Kyo MOCHIDA and Tetsuro OGAWA <sup>1)</sup> 1) 島根県産業技術センター	Journal of the Science of Food and Agriculture, 88:1704-1708, 2008
Anti-influenza virus activity of Myrica rubra leaf ethanol extract evaluated using Madin-Darby Canine (MDCK) cells	Kyo MOCHIDA	Bioscience Biotechnology and Biochemistry, 72:3018-3020,2008
Evaluation of the cytotoxicity of Geosmin and 2-Methylisoborneol using cultured human, monkey and dog cells	Kyo MOCHIDA	Biocontrol Science, 14:35-38, 2009
The relationship between seasonal variations of total-nitrogen and total-phosphorus in rainfall and air mass advection paths in Matsue, Japan	Katsuhiro YOSHIOKA, Hiroshi KAMIYA, Yoshihiro KANO, Yukiko SAKI, Masumi YAMAMURO <sup>1)</sup> , Yu ISHITOBI 1) The University of Tokyo	Atmospheric Environment, 43: 3496-3501, 2009
Comprehensive and rapid real-time PCR analysis of 21 food-borne outbreaks	Hiroshi FUKUSHIMA, Kazunori KATSUBE, Yoshie TSUNOMORI, Ryoko KISHI, Junko ATSUTA and Yuko AKIBA	International Journal of Microbiology, Volume 2009, Article ID 917623, 13 pages <a href="http://www.hindawi.com/journals/ijmb/contents.html">http://www.hindawi.com/journals/ijmb/contents.html</a>
2007年夏に出雲地区で流行したエコーウイルス30型による無菌性髄膜炎の臨床的検討	杉谷雄一郎 <sup>1)</sup> 、竹谷健 <sup>1)</sup> 、安田謙二 <sup>1)</sup> 、葛西武司 <sup>1)</sup> 、内田由里 <sup>1)</sup> 、吉川陽子 <sup>1)</sup> 、山口清次 <sup>1)</sup> 、飯塚節子 1) 島根大学医学部	小児科臨床, 61:1977-1982,2008
自然毒中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	食品衛生研究, 58:57-60, 2008
代替フロン類について大気中濃度の経年的推移と広域分布 -HCFC-22、HCFC-142b、HCFC-141b、HFC-134a-	黒崎理恵、多田納力、佐川竜也、田中孝典、荒木卓久	全国環境研会誌, 33:212-218, 2008

### 10. 3 学会・研究会発表

#### 公衆衛生・環境科学関係(海外)

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
H20. 5. 18 ～22	Survey of acari-borne emerging/reemerging rickettsiae in Shimane Prefecture facing the Asian continent, with reference to the geopathological significance in countries around East China Sea	Kenji TABARA	5th International Meeting on Rickettsiae and Rickettsial Diseases	Program Abstract Book p.74-75
H20. 7. 27 ～31	Rapid quantification of 12 food-borne pathogens in food samples by four step centrifugations prior to viable counting and real-time PCR	Hiroshi FUKUSHIMA	29th World veterinary congress	On-site program p.38

#### 公衆衛生関係(全国、中国地区)

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
H20. 4. 17 ～18	細菌性食中毒のReal-time PCR法による網羅的迅速スクリーニング(シンポジウム)	福島博	第82回日本感染症学会総会	感染症学雑誌、82臨時増刊号、p 123, 2008
H20. 4. 17 ～18	<i>Aeromonas hydrophila</i> 壊死性軟部組織感染敗血症の迅速診断	小早川義貴、泉陽子、山森祐治、金子栄、福島博	第82回日本感染症学会総会	感染症学雑誌、82臨時増刊号、p 376, 2008
H20. 4. 17 ～18	島根県におけるダニ媒介性感染症の実態と病原体の浸淫状況	田原研司	第82回日本感染症学会総会	感染症学雑誌、82臨時増刊号、p 335, 2008
H20. 4. 17 ～18	島根県における2007年麻疹患者の発生状況	飯塚節子、田原研司	第82回日本感染症学会総会	感染症学雑誌、82臨時増刊号、p 329, 2008
H20. 4. 17 ～19	わが国のマダニ媒介リケッチア症一特に日本紅斑熱の展開(シンポジウム)	田原研司	第60回日本衛生動物学会	衛生動物学会誌、第60回日本衛生動物学会大会特集、p 26, 2008
H20. 5. 30 ～6/1	島根半島のリケッチア症疫学(シンポジウム)	田原研司	第16回SADI	第16回SADIプログラム集 p.3
H20. 8. 28	生涯現役の地域をめざして～高齢者生活機能調査～	藤谷明子	第54回中国地区公衆衛生学会	講演要旨集 P56-57
H20. 10. 11 ～12	類似画像検索ソフトを利用したきのこの種類の絞込みの試み	来待幹夫	平成20年度日本獣医学会(中国地区)	講演要旨 p.95
H20. 11. 2 ～3	日本紅斑熱患者およびその刺咬マダニからの <i>Rickettsia japonica</i> 検出	田原研司	第63回日本衛生動物学会西日本支部会	講演要旨 p.11
H20. 10. 26 ～28	サポウイルスとノロウイルスが検出された食中毒事例	飯塚節子	第56回日本ウイルス学会学術集会	講演要旨集 p.281
H20. 11. 4 ～7	類似画像検索ソフトを利用したきのこの種類の絞込みの試み	来待幹夫	第67回日本公衆衛生学会総会	抄録集 p.322
H20. 11. 4 ～7	地域づくり活動を目指した新任時期の保健師支援プログラムの実践と現任教員支援体制整備	藤谷明子	第67回日本公衆衛生学会総会	抄録集 p.347
H20. 11. 12 ～13	SYBR greenリアルタイムPCR法による食中毒21事例からの原因菌の迅速スクリーニング	福島博、黒崎守人、穂葉優子、熱田純子、岸亮子	第29回日本食品微生物学会学術総会	講演要旨集 p86

	<i>Vibrio parahaemolyticus</i> 耐熱性溶血毒類似毒 (trh) 遺伝子の亜型分布について	山崎貢 <sup>1)</sup> 、青木日出美 <sup>1)</sup> 、松本昌門 <sup>1)</sup> 、平松礼司 <sup>1)</sup> 、遠山明人 <sup>1)</sup> 、池川敬 <sup>2)</sup> 、森下高行 <sup>2)</sup> 、長谷川敏博 <sup>2)</sup> 、八柳潤 <sup>3)</sup> 、加藤美和子 <sup>4)</sup> 、尾畑浩魅 <sup>5)</sup> 、本庄峰夫 <sup>6)</sup> 、岩出義人 <sup>7)</sup> 、福島博、緒方喜久代 <sup>8)</sup> 、犬塚和久 <sup>9)</sup> 、熊谷則道 <sup>10)</sup> 、一戸邦彦 <sup>10)</sup> 、荒川英二 <sup>11)</sup> 、伊藤健一郎 <sup>11)</sup> 、皆川洋子 <sup>1)</sup> 1) 愛知県衛生研究所、2) 愛知県食品衛生検査所、3) 秋田県健康環境センター、4) 新潟県保健環境科学研究所、5) 東京都健康安全研究センター、6) 石川県保健環境センター、7) 三重県保健環境研究所、8) 大分県衛生環境研究センター、9) 安城更生病院、10) 名古屋検疫所中部空港検疫所支所、11) 国立感染症研究所	第42回腸炎ビブリオシンポジウム	抄録集33 p
H20. 11. 13 ～14	類似画像検索ソフトを利用したきのこの種類の絞込みの試み	来待幹夫	第45回全国衛生化学技術協議会	講演要旨集 p.99～100
H21. 3. 27 ～30	夏場に廃棄されているワサビの葉の抽出物による抗インフルエンザウイルス活性	持田 恭	2009年(平成21年度)日本農芸化学会大会	講演要旨集 p.225

### 公衆衛生関係(県内)

年月日	題 名	発表者	学会名	掲載誌名
H20. 7. 4	類似画像検索ソフトを利用したきのこの種類の絞込みの試み	来待幹夫	第49回島根県保健福祉環境研究発表会	講演要旨集 p5-6
H20. 7. 4	生涯現役の地域をめざして～高齢者生活機能調査～	藤谷明子	第49回島根県保健福祉環境研究発表会	講演要旨集 p31-32
H20. 8. 7	類似画像検索ソフトを利用したきのこの種類の絞込みの試み	来待幹夫	平成20年度島根県獣医学会	要旨集 p.19

### 環境科学関係(全国、中国地区)

年月日	題 名	発表者	学会名	掲載誌名
H20. 9. 6	In-Situ Ge 長期連続測定	生田美抄夫、江角周一	日本原子力学会「2008年秋の大会」	抄録集 p.566
H20. 9. 17 ～19	光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究(3) -最近の中国・四国地方におけるOx・SPM高濃度事例解析(1)-	佐川竜也、田中孝典	第49回大気環境学会年会	講演要旨集, p321
H20. 9. 17 ～19	光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究(5) -最近の中国・四国地方における夜間のオキシダント高濃度事象の解析-	田中孝典、佐川竜也	第49回大気環境学会年会	講演要旨集, p323

H20. 9. 17 ～19	高濃度エアロゾル現象時における粒子状イオン成分の挙動	荒木卓久、多田納力、黒崎理恵、田中孝典、佐川竜也	第49回大気環境学会 年会	講演要旨集、 p454
H20. 9. 17 ～19	ライダー観測による高濃度エアロゾル現象の解析	黒崎理恵、多田納力、田中孝典、佐川竜也	第49回大気環境学会 年会	講演要旨集、 p455
H20. 10. 11 ～13	斐伊川の栄養塩負荷量の長期変化	石飛裕、神谷宏、狩野好宏	日本陸水学会第73回 大会	講演要旨集、 p312
H20. 12. 4	山陰の高地でのIn-Situ Ge 測定	生田美抄夫、山根宏、江角周一	第50回環境放射能調 査研究成果発表会	抄録集 p.7～8
H20. 12. 4	島根県における環境放射能調査	田中孝典	第50回環境放射能調 査研究成果発表会	抄録集 p225 ～228.
H21. 3. 16 ～18	宍道湖で発生したカビ臭について	神門利之、崎幸子、石飛裕	第43回日本水環境学 会年会	抄録集 p213
H21. 3. 18	Ge 半導体検出器によるIn-Situ $\gamma$ 線の長期連続測定	生田美抄夫、江角周一	平成20年度放射能分析 確認調査技術検討会	抄録集 p.163 ～172

## 10. 4 研究発表会

### 第23回保健環境科学研究所研究発表会

開催日 平成21年1月30日

場 所 島根県民会館

参加人員 110人

演 題	発 表 者
Ge 半導体検出器によるIn-Situ $\gamma$ 線の長期連続測定 (放射線を高解像度の目でみると何がわかるのか)	生田美抄夫 (原子力環境センター)
松江・隠岐に同時に降る雨の酸性成分を比べると・・・	荒木 卓久 (大気環境グループ)
宍道湖のカビ臭産生生物に迫る	神門 利之 (水環境グループ)
宍道湖・中海調査研究3万キロ －四半世紀の船旅－	石飛 裕 (湖沼担当スタッフ)
環境放射線モニタリング 島根県の場合 ～ これまで と これから ～	江角 周一 (原子力環境センター)
ダニのお話し －島根にいる病原体を媒介する悪いダニ－	田原 研司 (ウイルスグループ)
特定死因による死亡を減少させた場合の平均余命の延伸シミュレーション	和田美江子 (総務企画情報グループ)
県内で下痢症患者から分離された大腸菌はどんな病原遺伝子を持っているか － Multiplex PCR法による検出－	黒崎 守人、岸 亮子 (細菌グループ)

## 10. 5 平成20年度集談会

回	年月日	演 題	演 者
479	H20. 4. 24	斐伊川の栄養塩類の変動について 公衆浴場等におけるレジオネラ対策について 新型インフルエンザについて	崎 幸子 熱田 純子 保科 健
480	H20. 5. 22	蟠竜湖の堆積速度 クリプトスポリジウムのお話 健康危機管理と食品化学Sの業務	生田美抄夫 穂葉 優子 来待 幹夫
481	H20. 6. 19	予後を計る -survival analysis- 平成20年度の環境マネジメントの推進 プルトニウム分析の立ち上げについて	大城 等 橘 親男 河原 央明
482	H20. 7. 30	Ge半導体検出器による測定法 研修を終えて 目に見せて、言ってみせて、させてみて 国際リケッチア学会に参加して エピソード	野尻 裕樹 石飛 裕 田原 研司
483	H20. 8. 21	見て分かるエアロゾルによる大気汚染 TN濃度が高くなる降雨タイプの解明 積算線量測定に関するあれこれ	多田納 力 神谷 宏 山根 宏
484	H20. 9. 25	リアルタイムPCR反応に用いる Universal Internal Amplification Control の開発 サポウイルスと食中毒 三瓶山3池の水質調査結果について	福島 博 飯塚 節子 後藤 宗彦
485	H20. 10. 16	大気中代替フロン類濃度の推移 江津高野山風力発電について ICP / MS分析法について	黒崎 理恵 長岡 克朗 荒木 卓久
486	H20. 11. 20	宍道湖におけるカビ臭産生生物について 工業団地周辺水路ダイオキシン対策に係るトレーサー調査 自発的対称性の破れとベータ線～素粒子物理学から見た放射線～	神門 利之 福田 俊治 田中 孝典
487	H20. 12. 18	人工衛星で大気環境を見る 中国あれこれ、、、 放射能・放射線に係る単位について	佐川 竜也 田原 研司 江角 周一
488	H21. 2. 19	下痢患者尿由来大腸菌の病原遺伝子 島根県に生息するイノシシのE型肝炎ウイルス感染状況 曝露時点の推定？	岸 亮子 保科 健 黒崎 守人
489	H21. 3. 12	島根県における食肉のカンピロバクターとサルモネラの汚染状況及び患者由来株との関連性について 薬の効き方・のみ方について 島根県の冬季における湿性沈着にみられる酸性化傾向の解析	熱田 純子 小村 珠喜 江角 真依

## 10. 6 保環研だより

No.127 2008年 5月

1. 近年の島根県における光化学オキシダントの状況について
2. 「環境問題はウソ」を憂う
3. はしかにならない！はしかにさせない！
4. 平成19年度食の安全安心に関する出来事
5. 18年間の斐伊川負荷量の変化  
—中国大陆からの窒素負荷—
6. 放射線モニタリングと宇宙線と太陽
7. 第22回保健環境科学研究所研究発表会を開催しました
8. 学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表  
(平成20年 1月～3月)

No.128 2008年 9月

1. 「アジサイの葉」は食べられません。
2. 保環研・環境ISO 昨年の取組み状況について
3. 放射能および放射線の単位について
4. 酸性雨は島根県にどれだけ降っているのか？

5. 島根県沿岸への漂着ポリ容器について
6. ながびく咳は、お医者さんへ  
—おとなの百日咳にご用心—
7. 高校生を対象に校外学習を実施しました。
8. 学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表  
(平成20年 4月～7月)

No.129 2009年 1月

1. RS ウイルス感染症
2. 酸性雨は島根県にどれだけ降っているのか？  
Part 2
3. 冬の稲妻
4. 県内における地下水の調査結果から
5. カンピロバクター食中毒の予防
6. “高校生を対象にした体験学習”
7. 江角センター長、原子力放射線安全管理功労表彰  
を受賞
8. 学会等の発表、論文および特許  
(平成20年 8月～11月)